

事業所名

ABUW PERSONAL

支援プログラム

作成日

R7

年

3月

19日

法人（事業所）理念	子ども一人ひとり、見え方や捉え方は違う。 その様々な景色を、これまで以上にサポートする。								
支援方針	個別療育に特化したPERSONAL療育 療育の基本ベースを「運動療法」「感覚統合」とし、運動感覚入力や脳活動への刺激を促す。 理学療法士・作業療法士等を常勤配置し、身体・精神機能と療育的観点とを双方から、個々に応じた支援をおこなう。 保護者が療育に参加するきっかけづくりとして、定期的なイベントを開催する。								
営業時間	8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	運動療法にて粗大運動を取り入れ、体力や運動能力の向上を目指し、健康状態の維持・改善に繋げる。 靴、靴下の着脱、上下更衣、トイレトレーニングを活動の中で取り入れるなど、基本的生活動作の獲得。 生活習慣や生活リズムの形成。							
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、さまざまな体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援。 滑り台・トランポリン・一本橋等、複数の運動遊びを通して、体の動かし方を学び運動の楽しさを感じると共に、運動能力の向上に繋げる。 操作性、手指機能等の成長を支援。 水・砂・泥んこ・粘土・絵の具・ボディペイント等の感触遊びを通して、さまざまな素材の感触やにおい、音などを感じ五感を育む。							
	認知・行動	身体部位・色・比較・位置・分類・感情概念・時間概念・数・四則演算・図形に関するプログラムを実施。 認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、行動障害への予防及び対応を支援。 大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるよう支援を行う（スケジュール説明時に日付・人数を確認等）。 記憶、弁別力、構成力を養う。 状況の変化への対応（適応の難しさ等への支援）。							
	言語 コミュニケーション	運動を通して、コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援。 要求、報告、聴く、模倣、観察するなど、自分も周囲の人も大切にすることを学ぶ。 言葉だけでなく指差しや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、こどもに合わせた視覚的な支援を行う。 個別療育では、二項関係、三項関係の形成の支援。							
	人間関係 社会性	1対1から集団の基礎(連合遊び)の積み上げ、集団活動(模倣、ごっこ遊び、協同遊びなど)を通して社会性の発達を支援する。 アタッチメント(愛着)の形成と安定、遊びを通じた社会性の発達、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加の支援。							
家族支援	子育ての助けとなるように、本人の強み、感覚や認知の特性などをお伝えし、必要に応じて面談の機会を設ける。 ご希望により親子療育も行い、本人との接し方を知ってもらう。				移行支援		本人の強み、感覚や認知の特性を移行先と情報共有し、本人や受け入れ先が安心して過ごせるように支援する。 保育所等だけでなく、他児童発達支援事業所等を利用される際も本人の支援がスムーズにいこう情報を共有する。		
地域支援・地域連携	必要に応じて保育所等と情報共有し、本人が安心してすごせるよう支援する。				職員の質の向上		1週間に一度外部講師による勉強会実施。 各店舗症例検討実施。		
主な行事等	卒業イベント 各季節のイベント								